

平成 17 年 8 月 19 日

各 位

会社名 株式会社 フォトニクス
代表者名 代表取締役社長 柄澤 憲彦
コード番号 7708
上場取引所 大証ヘラクレス
問合せ先 取締役 業務管理部長 吉安 篤志
(TEL 03-5741-1818)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 8 月 25 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 17 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）
（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,413	114	14
今回修正予想 (B)	2,074	54	178
変動額 (B - A)	339	168	164
変動率 (%)	14.0	147.4	1171.4
前期 (平成 16 年 6 月期) 実績	2,856	429	11

2. 17 年 6 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）
（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	89	97	38
今回修正予想 (B)	96	94	106
変動額 (B - A)	7	3	144
変動率 (%)	7.8	3.0	378.9
前期 (平成 16 年 6 月期) 実績	157	110	133

3. 修正の理由

（連結）

売上高の修正の主な要因と致しましては、電子材料事業において、大口ユーザーからの継続性のある受注を獲得致しましたが、新規取引であるため、口座開設の交渉が期中に間に合わず、手数料収入のみ計上したため、期初計画より約 2 億円の売上減となりました。上記問題は、来期においては改善される予定であります。また、光学機器事業において光通信関連部品メーカーの設

備投資が慎重であり、当初見込んでおりました販売計画が未達となりました。経常利益の修正要因としては、上記売上による利益減のほか、最大の要因は超精密塑性加工事業の量産が遅れたことなどにより、持分法投資損失を約1億円計上したためであります。

しかしながら、当グループにおいて本業上のメリットを得られるようなパートナーに対して、保有株式の一部売却を行なった結果、特別利益を計上するため、当期純利益は大幅に増加する見込みであります。

(個別)

個別財務諸表に関し、上記保有株式の売却により期初予想を大幅に超える当期純利益を計上する見込みであります。当社は投資家の皆様に対して、透明性のある正確な財務諸表のディスクロージャーが重要であると考えております。そのため、現有資産及び投資先企業の適正な評価や見直しを常に行っております。その結果、当期におきましては業績回復途上の一部投資先について、その財務諸表を厳格に精査し、保有株式に対し大幅な評価損を計上致します。今後も上記方針で積極的なディスクロージャーを行っていく所存でございますので、株主の皆様には、引き続き当社をご支援の程よろしくお願い致します。

以上